

研究所だより

第346号
2015年1月8日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3016

<迎春・2015年>

謹んで新春のご祝辞を
申し上げます。

本年も宜しく
お願い致します。



群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味しています。従順で温和、情に厚く親切です。人との争いや対立を嫌うため、人間関係も至って良好です。正義感が強く真面目だと言われています。

眠れないときに羊を数えるのは、イギリスが発祥だと言われています。英語で羊のことを「sheep」と言いますが、これが眠る意味の「sleep」と似ているため、暗示をかける作用があるそうです。また、「sheep」の発音が寝息に似ているから「sheep」と言っ息を吐く行為がリラックスできるから、などの説もあります。

あなたは眠れないときに羊を数えると眠くなりますか？

新年を迎え、子どもも教師も夢を持ち、希望に燃え、やる気に満ちあふれているのではないのでしょうか。

<自主学習のやり方を身につけさせる>

1. 自主学習に取り組む教師の姿勢

- ①. 子どもの自主的な行動や発言をじっくり待てる
- ②. 授業では、子どもに学習方法を任せたり、選択肢を示したりすることが多い
- ③. 授業中、できるようになるためのヒントをこまめにだす
- ④. どんな子どもでも、学習すればきっと学力は伸びると信じている
- ⑤. 授業の中に、子ども同士が教え合ったりする活動を取り入れている
- ⑥. 子どもを励ます言葉をたくさん掛けるように心がけている
- ⑦. 子どもができるようになったことを、子どもと一緒に喜ぶことができる

2. 自主学習における「学び方」を練習する

自主学習の取り組みでは、最初の導入時にしっかりとその『型』を教える必要があります。自主学習は家に帰ってから一人で取り組む学習であり、教師がつきっきりでやり方を指導するというわけにはいきません。ですから、子ども達が家庭に帰ってからも戸惑うことなく見通しを持って学習できるように、ノートを使い方、学習の仕方といった「学び方」を、あらかじめ学校で練習しておくことが大事です。特に、低学年からの取り組みは大事で、きめ細かに指導していくことです。

ですが、自主学習のやり方は一回の練習ではなかなか身につくものではありません。覚えなければならないルールや、長く続けるためのコツもあるので、一つの内容を少しずつ「ミニレッスン」の形で取り組むことです。ミニレッスンは、朝の会や帰りの会などの時間を利用して行います。特に大事なミニレッスンは特別活動などを利用して時間をかけて行うことも大事です。

3. ミニレッスンの基本的な手順

- ①. 学習のめあてを確認する
- ②. なぜやるのかを知る
- ③. 上手なモデルノートを見る
- ④. 一人で、次に全員で練習をする
- ⑤. 振り返り（自己評価・ペア評価・先生評価）をする
- ⑥. 家に帰って挑戦してみる

この3学期間に先生方がこの手順をしっかりと理解し、来年度に向けて構想を立てる必要があります。そのことで子ども達の家庭学習への取り組みも高まってきます。

4. 基本メニュー

	学校での学習内容	自分の好きなこと・興味のあること調べ学習
低学年	・新出漢字の練習 ・漢字熟語練習 ・漢字テスト練習 ・算数ドリルの練習 ・教科書問題の練習 ・教科書の予習でポイントまとめ	・先生、あのね（日記） ・みつけたよ日記（生活科） ・生き物観察 ・音楽記号調べ ・工場の秘密調べ ・キャラクター作り ・交通標識みつけ ・恐竜図鑑調べ ・折り紙、貼り絵 ・縄跳び
中学年	・低学年メニュー ・新出漢字の予習 ・新しい言葉の意味調べ ・算数の予習ポイントまとめ ・理科の実験道具のポイント ・社会科の復習・予習	・ことわざ調べ ・点字さがし ・都道府県調べ ・新聞コメント ・お手伝いのコツ ・不思議に思ったこと ・四字熟語調べ ・数の不思議 ・世界の国旗 ・英語調べ
高学年	・低・中学年メニュー ・短歌、俳句の視写 ・古文、漢文の視写 ・テストの間違い直し	・読書と感想 ・おススメの本紹介 ・作家活動（物語作り） ・歴史上の人物調べ ・ペット紹介 ・外国語文化調べ ・サイン作り ・スイーツ調べ ・クラスレク調べ ・画家、作家調べ ・動物調べ ・好きなもの紹介

5. 学習習慣づくりのポイント（秋田県三種町の小中学校が家庭配布）

- ①. 決まった時間になったら机に向かう
- ②. 机の上には学習用具だけを置く
- ③. 「ながら勉強」をしない
- ④. 文字を丁寧に正しく書く
- ⑤. 復習を大事にする
- ⑥. 本に親しみ、感性と知的好奇心を育む

家庭学習ノートは、学力アップの基礎づくりの他にも、表現力や想像性が磨かれ、さらには時間を効率よく使う意識が身につけていきます。

毎日決まった時間や決まったタイミングで家庭学習をすることは、時間と自分がすべき行動を把握する必要があります。低学年のうちから家庭学習を意識するのとしないのでは、学年が進むにつれて時間管理能力に歴然の差が生じてきます。

<各種提出物締切・1月30日（金）>

- ・事業実績報告書
- ・総括教研部会報告書
- ・「清水の教育」原稿